

プレス板金加工業の加藤製作所(中津川市駒場、加藤景司社長)が、女性や高齢者、障害者らの積極雇用とその成果を評価する経済産業省の「ダイバーシティ経営企業100選」に選定された。

同社は2002年から高齢者の積極雇用を始め、現在は全従業員106人の半数が65歳以上。パートタイム勤務の高齢者はフルタイム勤務の若年層と比べ賃金が安く、製品の低コスト化が可能となり、新規取引先の獲得にもつながった。

加藤社長は「航空機部品など最先端の分野

経産省「ダイバーシティ経営100選」

加藤製作所を選出

高齢者の積極雇用評価

でも高齢者が活躍している。少子高齢化の中の一つの参考例になれば」と。

垣市郭町、土屋嶮頭取)の県内2社を含め、全国46社が選ばれた。同行は、女性行員でつく

ダイバーシティ経営企業100選は、12年度から数年間で累計約100社を表彰する予定で、本年度は同社と大垣共立銀行(大

る「エルズプロジェクト」による女性向けロールの開発や、総合職と一般職間のコース転換制度などが評価された。



ダイバーシティ経営企業100選に選ばれた加藤製作所の加藤景司社長＝中津川市役所